

株主メモ

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- **定時株主総会** 基準日 毎年3月31日
開催日 毎年6月中
- **剰余金の配当** 期末配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
- **単元株式数** 100株
- **公告方法** 電子公告（事故その他やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載）
<http://www.tpr.co.jp/>
- **株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- **特別口座の口座管理機関** みずほ信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所** みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- **お問い合わせ先**

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
注 意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

*未払配当金のみ、みずほ銀行本支店でもお取扱いたします。

- **ホームページアドレス** <http://www.tpr.co.jp/>

第79期 中間報告書

2011.04.01 - 2011.09.30

CHANGE AND CHALLENGE

株主様向けアンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>



アクセスコード
6463

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で蒲鉾（図書カード500円）を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media（ユーザー・メディア）の提供による株主リサーチサービスにより実施いたします。

（株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）

※本アンケートは株主様のみでの回答をさせていただきます。第三者の個人データ以外での目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ先（e-株主リサーチ事務局） TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30） MAIL:info@e-kabunushi.com

TPR株式会社



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080



TPR株式会社

（旧社名 帝国ピストンリング株式会社）

証券コード：6463
（東証一部）

株主の皆様へ

平素は格別のご高配とご支援を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。また、東日本大震災で被災された株主の皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

弊社第79期第2四半期累計期間が終了しましたので、概況につきご報告申し上げます。

新生「TPR」としてスタートしました

10月1日をもちまして、社名を「帝国ピストンリング株式会社」から「TPR株式会社」に変更いたしました。

弊社は、創立65周年を機に「TPR」を「通称社名」として制定し、2004年10月より使用してまいりました。アルファベット3文字には、次の意味をこめています。

T (テクノロジー) : 技術力
P (パッション) : 情熱
R (リライアンス) : 信頼

これは、弊社の企業理念で定めた「優れた技術と情熱をもって価値ある商品の創造に挑戦し、お客様の信頼に応えていく」決意をこめたものであります。

この度、弊社の事業内容がピストンリングのみではなく、多種多様化してきた現状を踏まえ、また未来に向けて新しい事業展開を一層進め、成長する決意を明確にするため、通称社名として親しんでいた「TPR」を登記社名とし、「TPR株式会社」といたしました。

若々しく元気の良い、グローバルなイメージに変わったと株主の皆様やお客様各位に感じていただける様社員一同頑張っております。

東日本大震災の影響はほぼ払拭いたしました

3月の東日本大震災の影響により、国内自動車メーカー各社は大幅な減産に直面いたしました。現時点においてはその影響はほぼ払拭されております。当社におきましても、4月、5月は大幅な減産、売上減少となりましたが、6月以降前年を上回る生産、売上となっており、減少分を急速に取り戻しつつあります。

また、国内自動車販売もゆるやかな増加基調に転じており、円高による輸出の減少は懸念されるところでありますが、自動車メーカー各社とも年度末にかけて、前年を上回る生産を計画しており、当社におきましても、

■ 第2四半期連結決算ハイライト

■ 売上高	30,201百万円
■ 営業利益	3,728百万円
■ 経常利益	4,418百万円
■ 四半期純利益	3,026百万円

増産、売上増加の基調が下期にかけても引き続く予想しております。

しかしながら中長期的には、円高による海外生産シフトが徐々に進むとみられ、国内の自動車生産は減少に転ずる可能性が大きいと見られます。こうした中当社におきましては、積極的に合理化投資をすすめ、国内において更に競争力を高めていく必要があると考えております。

海外におきましては、過去2年間二桁の増加率で拡大してきた中国市場は、本年は3~5%と急速にペースダウンしております。こうした中において当社グループ会社も、売上、収益の増加率が低下してはいますが、財務内容、収益率とも良好な水準を保っております。長期的には、中国を始めとした新興国市場は、順調に拡大していくものと考えられ、市場シェア拡大のための中国、インド、アセアン地区において積極的な増産投資を行っていく所存であります。

昨年10月のゴムシール事業のTPRサンライト買収に続いて、本年5月に樹脂成型事業を行うTPRエンブラを買収し、着実に多角化を推進しております。従来のエンジン関連事業の競争力を更に強化するとともに、グループとしてバランスのとれた多角化経営を積極的に展開し、企業価値を一層高めていく所存であります。

社名変更記念配当を致します

当グループの2011年度第79期第2四半期業績は、前記のような状況の中、お蔭様で引き続き順調な業績を示すことが出来、純利益は過去最高の30億円(28.6%増)となりました。

これにより、中間配当につきましては、社名変更記念配当2円を含め11円とさせていただきます。

通期の業績は、過去最高の見通しです

下期につきましては生産活動の回復が継続するとみられることから、通期の見通しは、売上、利益とも下記のように過去最高となる見込みです。しかしながら、欧州債務危機を発端とする世界的な景気後退、円高の更なる進行による輸出減速、ならびに、タイ洪水によるサプライチェーン寸断の影響拡大等の不透明要素も認められることから、グローバルベースでの経営環境の変化には細心の注意を持って、機敏に対応することが重要であると認識しております。今後とも皆様の変わりぬご支援、ご理解をお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO

平出 功



2012年3月期通期連結業績予想

売上高	63,000百万円
営業利益	6,900百万円
経常利益	7,900百万円
当期純利益	5,000百万円

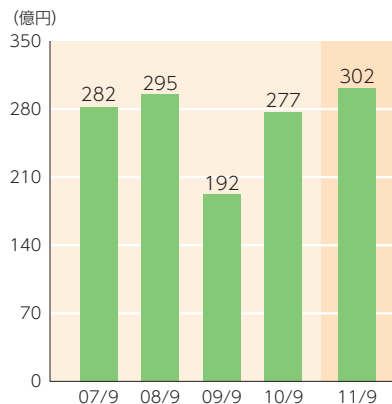
業績の概況

当第2四半期連結累計期間を取り巻く環境は、東日本大震災後の自動車業界では国内は回復基調にあったものの、海外では引き続きサプライチェーン問題の影響を受けながら推移してまいりました。また円高の進行、新興国での金融引き締め等不安定な状況でありました。

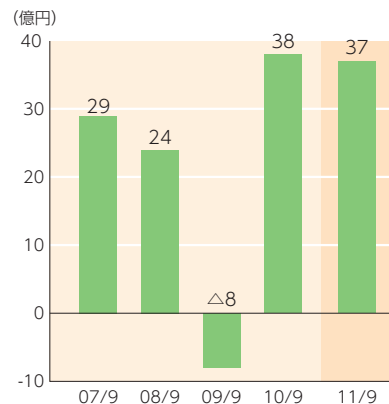
当社グループが主として関連する自動車業界では、震災によるサプライチェーン問題、電力需給問題への対応により予断を許さない状況の中、売上高の維持・拡大、原価低減活動の推進、固定費圧縮の継続等による

収益改善に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は302億1百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益は37億2千8百万円(前年同期比2.9%減)、経常利益は44億1千8百万円(前年同期比6.2%増)、四半期純利益は30億2千6百万円(前年同期比28.6%増)となりました。

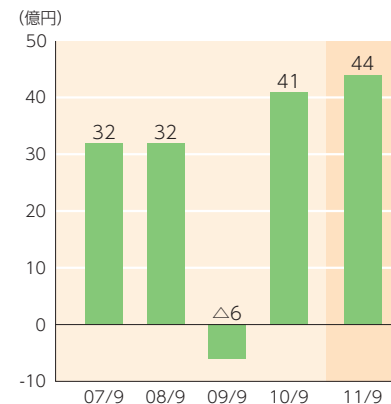
売上高



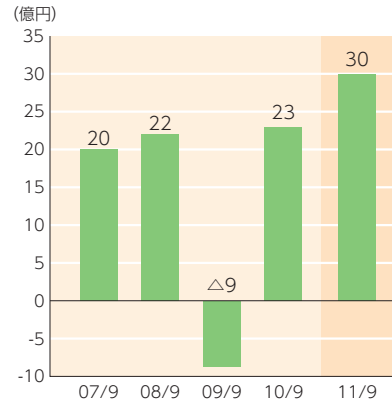
営業利益



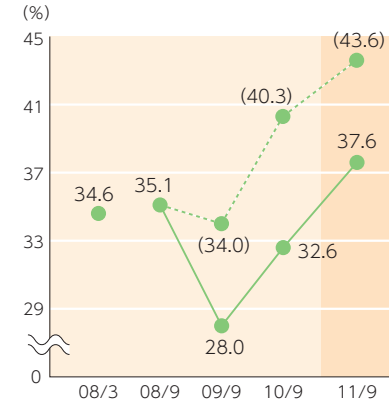
経常利益



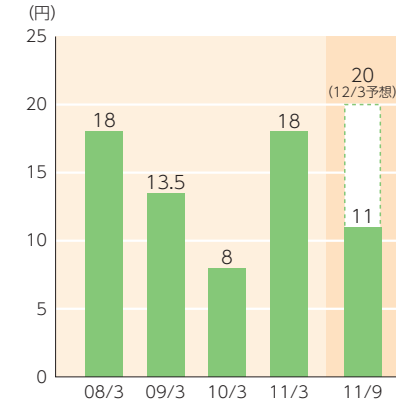
四半期純利益



自己資本比率



1株当たり配当金



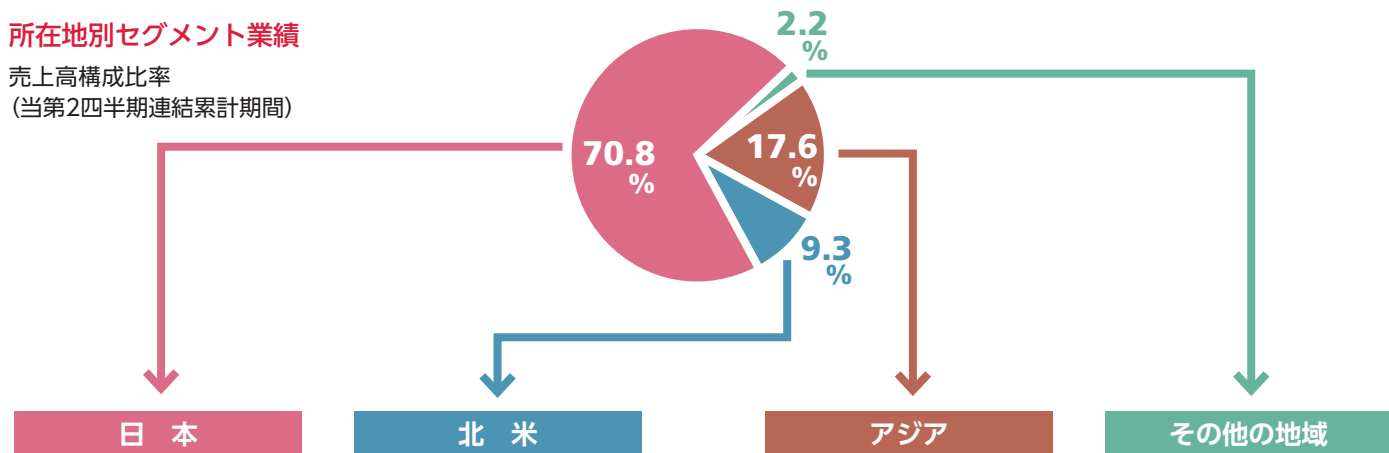
※ () 内は、総資産から現預金を控除した場合の数値

セグメント情報

所在地別セグメント業績

売上高構成比率

(当第2四半期連結累計期間)



日本

自動車業界のサプライチェーン問題の回復により、操業度の維持に貢献しました。また事業の多角化による新分野での事業拡大により、売上高は213億8千万円と前年同期に比べ18億8千万円の増収となりました。セグメント利益は既存事業の操業度に伴う減益影響をカバーしきれず19億5千5百万円と前年同期に比べ2億5千4百万円の減益となりました。

北米

自動車市場の停滞感の中、大型受注が軌道に乗り、売上高は28億1千7百万円と前年同期に比べ2億9千1百万円の増収となりました。セグメント利益は東日本大震災によるサプライチェーン問題の影響もあり、1億7千8百万円と前年同期に比べ8百万円の減益となりました。

アジア

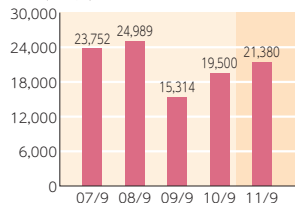
中国を始めとする、成長が続いているアジア市場では、売上高は53億2千4百万円と前年同期に比べ2億9千6百万円の増収となりました。セグメント利益は15億1百万円と前年同期に比べ8千3百万円の増益となりました。

その他の地域

金融不安により停滞している欧州市場では生産動向の影響により、売上高は6億7千8百万円と前年同期に比べ4千4百万円の減収となりました。セグメント利益は9千1百万円と前年同期とほぼ同一水準となりました。

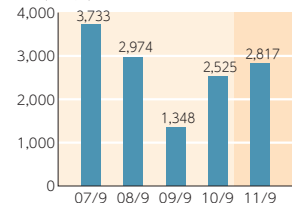
売上高

(百万円)



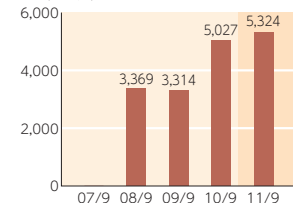
売上高

(百万円)



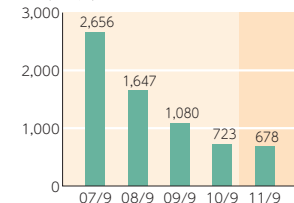
売上高

(百万円) (07 はその他を含む)



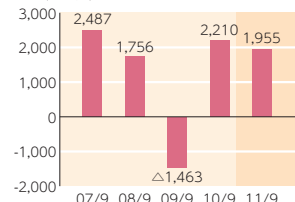
売上高

(百万円) (07 はアジアを含む)



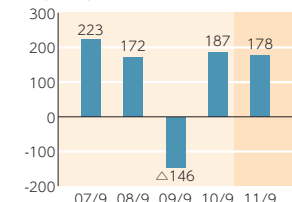
営業利益

(百万円)



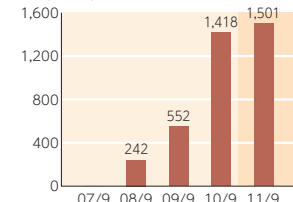
営業利益

(百万円)



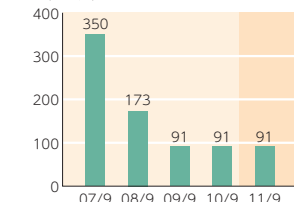
営業利益

(百万円) (07 はその他を含む)



営業利益

(百万円) (07 はアジアを含む)



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期末 (2011.9.30現在)	前期末 (2011.3.31現在)
資産の部		
流動資産	36,746	32,671
固定資産	43,553	42,712
有形固定資産	27,075	26,629
無形固定資産	634	665
投資その他の資産	15,843	15,417
資産合計	80,299	75,383
負債の部		
流動負債	32,552	31,662
固定負債	13,155	12,228
負債合計	45,707	43,891
純資産の部		
株主資本	31,188	28,501
その他の包括利益累計額	△ 1,005	△ 1,173
新株予約権	32	40
少数株主持分	4,377	4,123
純資産合計	34,592	31,492
負債純資産合計	80,299	75,383

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、29億3千9百万円（前年同期比30.8%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が45億7千7百万円となった一方、法人税等の支払額が増加したこと等によるものであります。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、30億1千5百万円（同386.6%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得及び子会社株式の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、1億7千6百万円（前年同期は32億4千7百万円の使用）となりました。これは主に長期借入れによる収入が増加したこと等によるものであります。

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2011.4.1～ 2011.9.30)	前第2四半期 (2010.4.1～ 2010.9.30)
売上高	30,201	27,776
売上原価	21,611	19,484
売上総利益	8,590	8,292
販売費及び一般管理費	4,861	4,452
営業利益	3,728	3,839
営業外収益	1,084	1,011
営業外費用	394	690
経常利益	4,418	4,161
特別利益	221	11
特別損失	63	267
税金等調整前四半期純利益	4,577	3,905
法人税等	1,005	973
少数株主損益調整前四半期純利益	3,571	2,931
少数株主利益	544	578
四半期純利益	3,026	2,353

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2011.4.1～ 2011.9.30)	前第2四半期 (2010.4.1～ 2010.9.30)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,939	4,248
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,015	△ 619
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	176	△ 3,247
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△ 204
現金及び現金同等物の増減額	116	177
現金及び現金同等物の期首残高	10,643	14,402
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	181	132
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,941	14,712

ATG設立15周年

10月21日、TPRの中国における初めての合弁会社「安慶帝伯格茨活賽環有限公司」(ATG)の設立15周年記念式典を、中国安徽省安慶市で開催いたしました。

当日は、安慶市の書記、市長を始め、中国政治経済界から多くの来賓にご出席いただき、式典の後は、晩餐会および大規模な舞踊公演会が行われて、来賓とATG従業員と一緒に15周年を祝いました。



日産「品質優秀賞」を受賞

7月11日に開催された『協力会 日翔会総会』の中の「Nissan Global Supplier Award 2011」に於いて、TPRは「Japan Regional Quality Award」(品質賞)を受賞いたしました。

同賞は日産自動車の品質表彰で最も栄誉ある賞で、今回は約250社のサプライヤから3社のみ受賞となります。TPRは2008年以来2度目の受賞となりました。



介護付有料老人ホーム施設完成

高齢化を迎える地域社会への貢献を目的に長野県岡谷市に建設が進められていた、介護付有料老人ホーム・デイサービス施設「さわやか絹の郷 信州おかや」が10月1日完成し、業務を開始しました。



会社概要

- 社 名 TPR株式会社
- 所在地等 〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
丸の内トラストタワーN館
TEL：03-5293-2811 (大代表)
FAX：03-5293-2824
URL：http://www.tpr.co.jp/
(2011年12月26日より、下記に移転します。郵便番号、電話番号は変化ありません。)
東京都千代田区丸の内一丁目6番2号 新丸の内センタービル
- 資 本 金 43億85百万円
- 設 立 1939年12月3日
- 従 業 員 823名 (2011年9月30日現在)

株式情報 (2011年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	135,000,000 株
発行済株式の総数	35,619,099 株
株主数	7,475 名
上記のうち議決権を有する株主数	6,711 名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,654,500	7.45
明治安田生命保険相互会社	2,395,000	6.72
株式会社損害保険ジャパン	2,293,000	6.43
トヨタ自動車株式会社	2,070,600	5.81
株式会社みずほコーポレート銀行	1,518,800	4.26
帝国ピストンリング取引先持株会	1,168,800	3.28
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	990,300	2.78
東京建物株式会社	933,687	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	890,100	2.49
みずほ信託銀行株式会社	766,000	2.15

(注) 出資比率は分母の株式総数に自己株式を含む。

お知らせ

単元未満株式の買取制度について

単元未満株式(100株に満たない当社株式)を当社が買い取る【買取制度】がございます。

詳しくは、みずほ信託銀行(0120-288-324)にお問い合わせください。

配当金の確定申告について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。